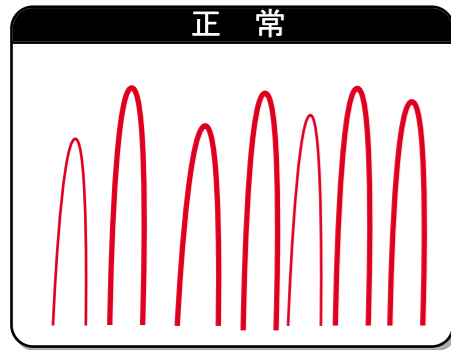
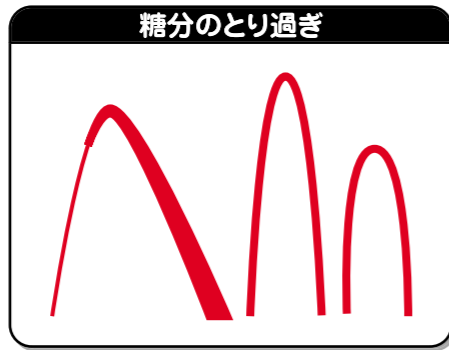


マーキスII操作ガイド

【観察画像例】

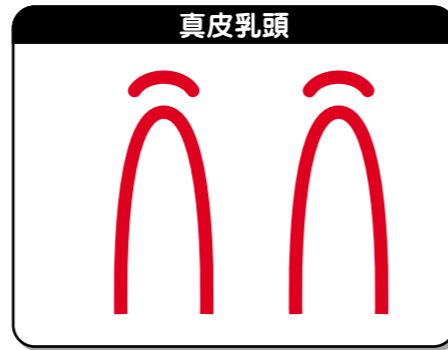


正常



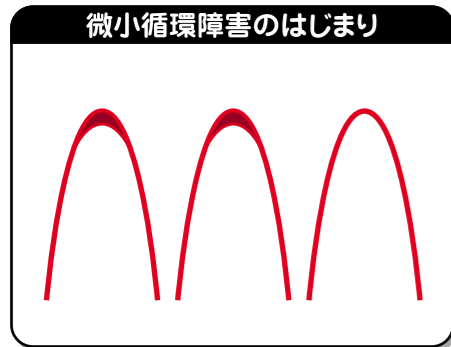
糖分のとり過ぎ

広がった血管が多く見られる。代謝にも問題があるので、食事の量と質の改善、適度な運動も必要。



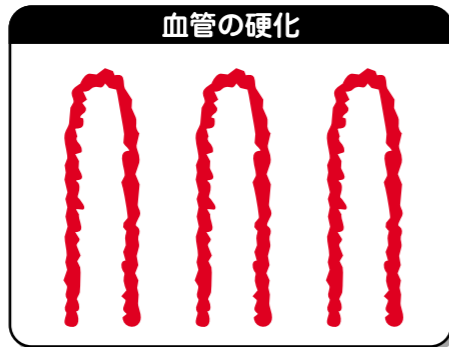
真皮乳頭

新陳代謝の良い人は血管の先の上には必ず真皮乳頭があり、鮮明にわかる。



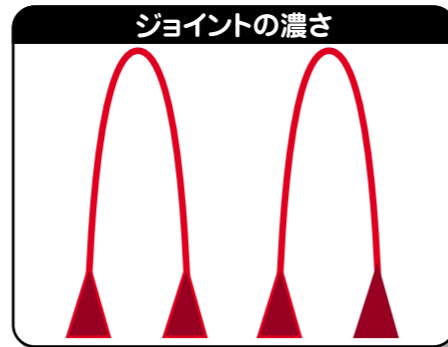
微小循環障害のはじまり

ループの上が黒くなりはじめているが血管は通っている。瘀血のはじまり。



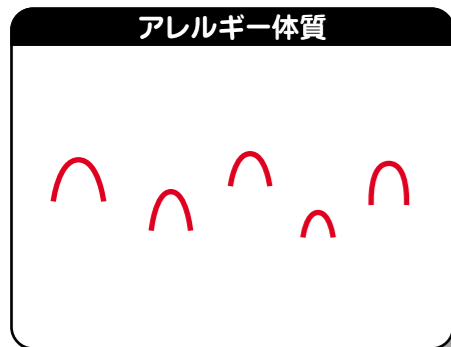
血管の硬化

血管が硬くなってもろくなりはじめていて、肩こりや各所の痛みをとまなうことが多い。頭痛、頭が重いなどの症状がでることもある。



ジョイントの濃さ

動脈や静脈につながる微小循環のジョイント部分が濃く見える人は、血栓ができやすいので、生活習慣とストレスに注意が必要。



アレルギー体質

血管の先端部分のみが見えるだけで、他はほとんど見えない。食事面などを注意し、体質改善に努めることが大切。



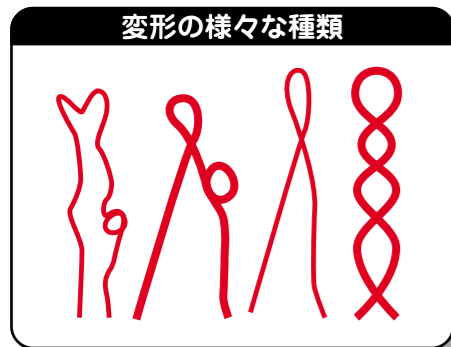
肝臓機能の低下

肝臓病の可能性がある。医師の診断が必要と思われる。



脂質のとり過ぎ (中性脂肪、コレステロール)

脂質のとり過ぎに注意し、適度な運動をすることも大切。



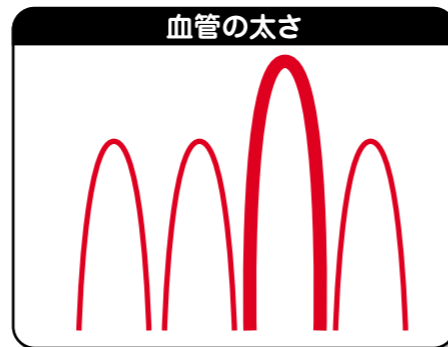
変形の様々な種類

変形には様々な種類がある。高脂血症のように、血液の質が悪い場合は、すべての微小循環が変形になることがある。食事の改善と運動が必要。



組織の異常増殖

組織が異常増殖したり、炎症反応によって、できた血管の可能性があり要注意。検査の必要あり。



血管の太さ

奇形ともいえる。組織の病的変化の可能性もある。状況によって、医師の診断が必要と思われる。



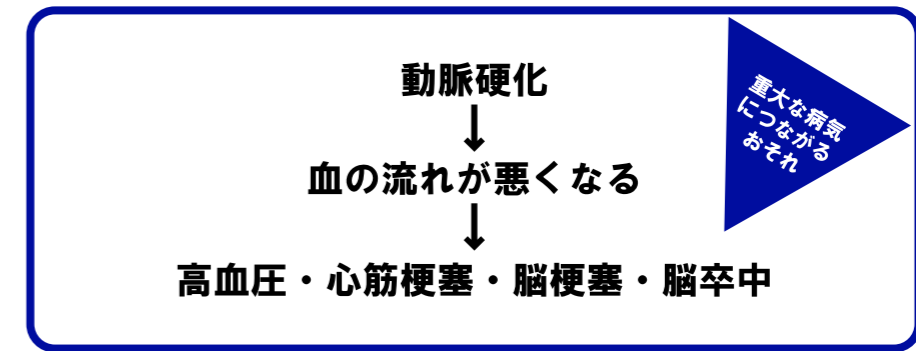
動脈硬化

動脈硬化とは…

動脈の内側にコレステロールやカルシウムが沈着したり、動脈壁の筋肉中に弾力のない線維が増えたりすると、硬くなったり壁が厚くなったりします。これが動脈硬化です。

動脈硬化が進行すると…

動脈硬化が進行し、血管内膜が厚くなり内径が狭くなると、血液の流れが悪くなり、脳や心臓など、さまざまな臓器の働きが悪くなります。



動脈硬化はなぜ起こる…

動脈硬化の原因は遺伝的な体質に生活習慣がかかわって起こると考えられています。血管の老化現象とも言われ、何年もかけて進行していきます。40歳以上のほとんどの人に多かれ少なかれ動脈硬化が見られます。動脈硬化を促進する主な危険因子としては、以下のものが挙げられます。

高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、高尿酸血症、ストレス、過度の飲酒、喫煙、運動不足…など

動脈硬化を予防するには…

第一に正しい生活習慣を心がけることが重要です。規則正しい食生活（バランスの良い食事の習慣化）をベースに、適度な運動をする、ストレスを溜めない、など、意識的に自身の健康状態を把握しましょう。



注意事項

- ・ 医師以外の方が、血管の形状や血流の状態を基に、病名を告げるなどの診断行為を行うことはできません。
- ・ 健康食品、健康商材の販促ツールとして血流観察を行う場合、消費者の不安心理を煽ったり、虚偽の情報を基に商品案内をした場合、訪問販売法、景品表示法その他関連諸法により所定の措置がとられる場合があります。